



# 校長室だより

## 確かな「Trase」(痕跡)を残したコロナ禍3回目の秋桜祭

例年より約2週間遅い9月最終週に行った第16回秋桜祭。1学期からの紆余曲折とコロナ感染拡大が重なり、準備期間が少ない中で行われた秋桜祭でしたが、先週末無事に終えることが出来ました。「やりたいを形に」という子ども達の願いのもと、3年生を中心にやりきった充実感を得ることが出来た2日間になりました。感動の余韻を味わう閉祭式の中でまとめとして次のような話しをしました。

### 秋桜祭で具現化された「S・O・Sの法則」

コロナ禍3年目、毎年少しずつ違う様々な制約があるなかで、企画・準備してきた第16回秋桜祭が、今終わろうとしています。私にとって中込中学校の「秋桜祭」は4回目となりますが、今年の秋桜祭も、コロナ禍3年目の秋桜祭として心に残る今年ならではの特別な秋桜祭になったと思いました。私がこの2日間を通して感じた素晴らしさを2つ話します。

1つ目は、「本番のエネルギーの凄さ」です。今日の午前中の「音楽会」どうでしたか。私は感動しました。まず2年生、2週間前の中間発表から更にレベルUPし、どのクラスも来年に期待を持たせる発表をしてくれました。4クラスが集まれば大きな力になることを証明してくれました。次に1年生、各クラスの発表はもとより、学年合唱「地球星歌」はとても1年生とは思えない見事な合唱でした。昼休みに毎日練習した成果を充分発揮してくれました。そして3年生、各クラス真剣に歌に向かう姿勢がステージからひしひしと伝わってきて、感動で胸が熱くなりました。



【「賞」がなくても本気で合唱に向き合う3年生の姿に感動しました】

「3年生がやってくれた!」と思い、本当に嬉しかったです。最後の学年合唱「糸」、心に響きました。今年から音楽会で「賞」をつけることをやめたのですが、「賞」がなくても合唱にこれだけ真剣に取り組む3年生の姿は、中込中の音楽会の歴史に新たな一歩を刻んでくれました。2日間に渡って行われたコスモステージ・フリーステージでも、改めて皆さんが持っているエネルギーの熱さを感じました。各クラスがそれぞれテーマを見つけ約10分間の中で各クラスの持ち味を充分発揮してくれました。1年生は初めての、そして、3年生は最後のコスモステージとして、各クラスの「やりたい」が形になったと思います。特に感じたのは、どのクラスも映像の編集力が素晴らしく、この様な力が将来の映像職業にも繋がるのかなと思いました。また、フリーステージでも、日頃の生活では見られない出演者のエネルギーを感じました。好きなことだからやれる、そして、それを人前で表現できることは、将来に繋がる大事な力です。中込中のフリーステージの伝統をこれからも繋いでいってほしいと改めて思いました。

2つ目は「最後の追い上げの力」です。今年は「音楽会」と「コスモステージ」を2日間のなかでどの様に行うかということで、1学期後半、様々に話し合いを重ねました。そのため、企画・準備を始める時間が例年よりかなり遅くなり、「今年は準備が間に合うかな?」と9月上旬頃まで大変心配な状況でした。しかしながら、目標本数に届いていなかった全校制作の「アンブレラスカイ」も、9月後半の全クラスの協力と役員の方の皆さんの追い上げで、秋桜祭の2日前には見事に完成しました。また、音楽会も出だしは遅れていましたが、9月中旬から校内に歌声が響き始め、各クラスや学年合唱の完成度が日に日に進歩していく様子が伝わって来ました。この他の企画や学級の取り組みも9月後半1日1日と変化していく姿を目の当たりにし、本気になって取り組めば、最後にすごい「追い上げの力」があることが改めてわかりました。

以上2つのことから私はあることを思い出しました。それは以前話したことがある「S・0・Sの法則」です。「S・0・Sの法則」とは何か、これは「Sそう、0思ったら、Sそうの法則」で、そう・思ったら・そう、のかしら文字から「SOSの法則」と名付けられています。今年の秋桜祭テーマは、「やりたいを形に」。「やりたい！」とまず「S・そう」思うことが大事なのです。「S・そう」「0・思ったこと」のみ「S・そう」なります。これは皆さんの人生や未来そのものです。まず「S・そう」思いましょう。そう思わなければ何も願いは叶いません。その思いや願いが強ければ必ずその思いに共感し、支え、助けてくれる仲間や人が集まります。今年の3年生とその思いに共感した全校の皆さんは、正にこの「S・0・Sの法則」を秋桜祭の過程で実現して来ました。その思いと道のりの集大成がこの2日間に繋がったと思います。



【早朝、アンブレラスカイの周りを掃除する3年生】

開祭式の本部企画の楽しい演出やアンブレラスカイの制作過程を編集した動画には心が揺さぶられました。体育祭では「運動が苦手な人も楽しめる運動会」をテーマに、全校アンケートを実施し、「玉入れ」「障害物競走」という新しい企画を取り入れ、より多くの人を楽しめる運動会に変えてくれました。夏休み中からこつこつと美術部の皆さんが創り上げてくれたテーマにふさわしい華やかなステージバック、今年もステージバックから飛行機が飛び立ったり、光ったり、数字が引き出されたり、という斬新なアイデアを次々と披露してくれました。例年に負けないくらいレベルが高かった秋桜祭ポスターとその作品をあしらった分厚い手作り感満載のパンフレット、さらには、人数を厳選し

て行った意見発表会、3年3組上原希菜さんの「名簿順を見直すべき」という意見には同感する部分も多く、日々の授業などで改めて対応しなければと思いました。2日目の最初を飾ってくれた吹奏楽部の演奏。全校制作「アンブレラスカイ」の下、みんなが知っている曲をいくつも取り入れ、秋桜祭2日目を早朝から盛り上げてくれました。多目的ホールに飾られたとても中学生が作ったとは思えないような家庭科部の素敵な作品、今年県大会に出場したサッカー部、男子バレー部を始めとした各運動部の成果を発表した展示物、各クラスの黒板アート、色とりどりの傘に吊り下げられた1人1人の秋桜祭への思いや願い、昇降口の装飾や校内各所に飾られた秋桜の一輪挿しなど、コロナ禍3年目として今年ならではの工夫したアイデアが沢山詰め込まれた充実の2日間になりました。

この様な皆さんの「やりたいを形に」の思いは、多くの方々に伝わり、多くの皆さんに支えられてこの2日間は実現しました。アンブレラスカイを吊り下げる針金の準備をし、傘の釣り下げを手伝って下さった先生方、傘が足りなくて寄贈していただいた中込商店街を始めとした地域の皆様、コスモステージのために張り出しステージを借して下さったホテル一万里の皆さんや市役所からトラックを借りてステージを運んで下さった先生方、更には資金集めのために多くのアルミ缶を提供して下さっている地域の皆様など、本当に多くの皆さんが陰で支えて下さったなかで、皆さんの「やりたい！」が実現し、多くの皆さんの「Sそう・0思ったら・Sそう」がいくつもの「Trace」(痕跡)となった2日間でした。

この2日間と今日まで歩んできた「痕跡」は、中込中学校にとって、明日からの成長に繋がる貴重な時間となりました。学友会の役員をはじめとした3年生のみなさん、ありがとうございます。中込中にまたひとつ新たな方向性を示してくれたことに感謝します。1~2年生の皆さん、先生方、日々の生活を陰で支えて下さった保護者の皆さんに感謝です。全校ひとりひとりが主役となって力を発揮し、共に創り上げ前進した姿は、今年の学友会スローガン「Brush up!」にもつながり、この秋桜祭を通してひとりひとりが、そして各クラス、学年、全校が確実に「やりたいを形に」できたことを実感しました。「中込中、最高！」この様な気持ちにさせてもらったことに、私は今心から感謝しています。今年の秋桜祭の成果を受け止め、来週から始まる今年度後半に向けて、更に歩みを進めていきましょう。感動にあふれる素晴らしい2日間を本当にありがとうございました。

3年前のコロナ禍の「ピンチ」から生まれた「コスモステージ」、それを「チャンス」と捉えた3年生の姿勢に、コロナ禍を歩んだ3年間の成長を改めて感じました。「賞」がなくても一致団結して取り組めた「音楽祭」、運動が苦手な人も含め全員が楽しめる企画を考えた「体育祭」など大きな変化と成果を得ることができた2日間となりました。また、PTAの皆様には今年度復活したバザーで沢山の品物を提供していただき大変ありがとうございました。今年度後半もこれらの成果を活かし課題を解決しながら、全校生徒・教職員一丸となって学校生活を充実させていきたいと考えております。引き続き、ご支援・ご協力よろしくお願い致します。(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校

\*ご意見、ご要望、お問い合わせなどは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0725

Fax 0267-62-2876